

令和3年度第1回越谷市科学技術体験センター運営委員会

- 日 時 令和3年5月7日（金） 15時00分～17時00分
- 場 所 越谷市科学技術体験センター 1階工作室1
- 出席者 (委員9名) 手嶋委員長、前徳副委員長、林委員、西村委員、上野委員、
加藤委員、亀田委員、須藤委員、前坂委員
(事務局8名) 鈴木教育総務部長
木村生涯学習課長
前田生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長
浅古主幹、中村主幹、小高主任指導主事、島村主事、
児玉主事
- 欠席者 (委員3名) 井原委員、市村委員、鈴木委員
- 内 容 下記のとおり

会 議 内 容

令和3年度第1回運営委員会会議録（令和3年5月7日開催）

- 1 開会 司会：前田生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長
- 2 あいさつ 手嶋委員長、鈴木教育総務部長
- 3 報告事項

(1) 令和2年度事業報告について

議 長 令和2年度事業報告についての説明を求める。

事務局 令和2年度事業報告の資料に基づいて説明を行う。

議 長 委員に諮る。

委 員 ホームページの動画配信のアクセス数はどれくらいか。
アウトリーチ事業と特別な支援を要する児童生徒を対象にした科学工作体験事業はコロナのため実施できなかったと思うが、例年どれくらい実施されていたのか。経年の分析を見て次年度に反映することが目的だと思うので状況を教えてほしい。

事務局 8つの動画配信アクセス数は把握しきれていない。

アウトリーチ事業は平成31年度3件、特別な支援を要する児童生徒を対象した科学工作体験事業は平成31年度9月から始めて半年の実績で7校からご依頼をいただき、143人の児童生徒が体験した。

アウトリーチ事業は、これを実施する理科の先生が小学校にはかなり少ない。理科の先生がいるところでは要望があるが、そういった先生が少ないところでは利用が少ないため、学校利用事業で補っている。

委員 科学技術体験センターでプログラミングの学習もするとのことで、予算もだいぶ増えたように見える。今後ロボットコンテストなどをする予定があるのか。また、以前講座に参加したときに備品が古いように感じた。備品を交換する予定はあるのか。

事務局 令和2年度は例年開催されていた4校対抗ロボットコンテストが、感染拡大防止のため中止になった。備品については、子供が多く利用しているので古い備品は使用していない。来館者の安全安心を考え古い備品は使わず今ある備品を使用している。

委員 企画展をいくつか見させていただいたが素晴らしい。特にSDGsについてはタイムリーな企画である。企画を行う上で苦労している点はどんな部分か。

事務局 小さな科学館は大きな科学館からパネルを借りるというのが主流だが、私達は、科学技術体験センター独自のものを展示している。宮沢賢治展も科学と宮沢賢治を絡めた展示を私達の見線で作成している。SDGs展についても180枚のパネルすべて手作りである。市民に分かりやすくSDGsを伝えるよう心掛けている。

委員 興味があつて昨年はサイエンスショーを見に来る予定だったがコロナの関係で中止となってしまった。機会があれば大学の授業の中で講座として考えたい。

委員 26ページの令和2年度の年間入館者数の数字のフォントが大きく、数字の変化が分かりにくい。

(2) 令和2年度決算概要について

議長 令和2年度決算概要についての説明を求める。

事務局 令和2年度決算概要の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

—意見なし—

(3) 令和3年度事業計画について

- 議 長 令和3年度事業計画についての説明を求める。
- 事務局 令和3年度事業計画の資料に基づいて説明を行う。
- 議 長 委員に諮る。
- 委 員 令和3年度から小中学校でタブレット端末が一人一台配布されることとなり吉田教育長もこちらを使って授業をしてほしいと言っている。科学技術体験センターもタブレット端末を使った事業を考えているか。
- 事務局 タブレット端末を使用した事業については検討中であり、現在それを用いたメニューはない。学校利用事業後の教員・児童のアンケート回答は令和3年度からタブレットを使用したものに変更している。できるところから進めたいと考えている。
- 委 員 これだけの財産を何校かにしか実施しないのはもったいない、全部の学校で実施してほしい。広めるためにどのような工夫をしているのか。
- 事務局 市内学校については年度当初に校長会・教頭会にて資料配布および所長からの説明を行っている。また、学校利用事業で各学校に赴いた際に指導主事からご案内している。今後もさらに広めていけるよう、周知の方法を検討していきたい。
- 委 員 新しい指導要領「主体的で対話的な深い学び」に沿った手伝い、理科の実験をアドバイスしてほしい。
- 事務局 ミラクルで行っている出張事業に発電についてというものがある。SDGsに絡めて議論をする中でこちらを立てればこちらが立たずという状況が起きる場合がある。例えば、水力発電の推進のためにはダムが必要になるがダムをつくることで森林が破壊されたり、町が水没したりする。太陽光パネルがクリーンなのではというお子さんもいるが、森林を切り開いたメガソーラの活用が本当に望ましいのかなどSDGs各目標の対立点を明確にしたうえで議論すると活発な議論になる。様々な価値や仮説の対立するところで議論をしていく中で今旬のSDGsをもつてくると面白いのではないか。

- 委員 プログラミングはなぜ紙でやるのか。家族で2歳の孫がいるが、すでにスマホを使っている。コンテスト的なものは子供たちが深い学びをするためには必要だと思うが、予定はあるのか。また、プログラミング講座は1回なのか、複数回なのか。
- 事務局 スマホやタブレットを使ったコンテストの予定は今のところ検討していない。子供たちのスマホの使用が日常化している現状を踏まえて時代の流れを見ながら事業を検討していきたい。
- 委員 科学技術体験センターは先生方の質を高める面白い実験がたくさんある。越谷市の中で免許更新ができるとよいのでは。
- 事務局 免許更新については、科学技術体験センターのみで進められる事項ではないため、関係各所と連携を取りながらより良い方向へ進めていきたい。
- 委員長 科学を入り口にしてSDGsに絡めることで人権や開発など多岐にわたる事項を俯瞰できるようになるとよい。

(4) 令和3年度当初予算について

- 議長 令和3年度当初予算についての説明を求める。
- 事務局 令和3年度当初予算の資料に基づいて説明を行う。
- 議長 委員に諮る。
- 委員 480万円のバス代は小中学校45校としては金額がとても多い。
バスの稼働はどうなっているのか。私は法人会で会社を経営している方々の決算を拝見しているが、歳入より歳出があまりにも多い。
宮沢賢治展の事業もあまり知られていない。宣伝方法も予算を取って行うことはできないのか。高齢者を含む生涯学習の対象の方に分かりやすく宣伝してほしい。
管理運営委託料の金額が非常に大きいですが、どのような会社に委託しているのか。常に委託先が変わっているのか。
- 事務局 バスの借り上げ料480万円については30校中28校についてバスを利用。学校によって人数が異なるため、バスの台数も異なる。コロナの関係でバスの利用をやめ、職員を派遣する形に変更したため480万円から0円に

変更となった。中学校の学校利用があった（授業数が足りないため現在はやっていない）ときは、約800万円の借り上げ料がかかっていた。

宮沢賢治展については概要の14ページをみると、学校へのポスター・チラシの配布、cityメール、ホームページ広報に加えて記者発表を行ったため、多くの新聞で取り上げられた。一か月に1万3千人にお越しいただいた。SDGsについては、ちいき新聞に掲載させたほか、講演をお願いした黒ラブ教授のTwitterでのツイートにより県外からも来館した。さらに謎解き科学館のイベントでは144の予約枠がいっぱいになった。TBSでSDGsが取り上げられた関係で家族での来館も増えている。連休中の来館者は毎日600人程度あった。

委託料については施設管理公社に委託。内容は館の維持管理、修繕、メンテナンス、ワークショップ、サイエンスショーの委託などです。

委員 今まで企画展は行っていたのか。

事務局 なかった。コロナの感染拡大がきっかけとなった。文化庁のガイドラインで接触型の展示物は原則展示中止と示されており、当センターの体験装置は全て接触型であるため、使用できなくなった。そこで企画展示を開催した。

委員 今後開催する場合は、無料で行うのか。

事務局 条例変更をしない限り料金の徴収は難しい。現時点では無料で開催している。企画展を開催するうえで経費が掛からないよう最大限の努力をしている。借り上げ料のかかるものを利用しないため、スチレンボードなどのパネル代くらいしか経費は掛かっていない。

4 その他

—なし—

議事終了

5 閉会 あいさつ：前徳副委員長